

日本古来種 「アキノキリンソウ(アワダチソウ)」

山地や丘陵部の日当たりのよい場所に生育します。陶史の森にも生育しています。

かつては、里山に囲まれた水田の周辺、ため池の土手などにごく普通にみられた秋草の代表であり、リンドウなどと共に小学校の教科書や絵本でよく紹介されていました。若葉は食用可であり、水にさらしたあと、和え物やおひたしに料理できます。また、陰干にしたものは、薬用にもなります。

「アキノキリンソウ」の名前の由来は、秋に咲き、ベンケイソウ科の「キリンソウ」に似た花を咲かせることにあります。また、花がぎっしりと集まって咲く姿が酒を醸した時の泡立ちに似ていることから「アワダチソウ」の別名もあります。名前がよく似ている「セイトカアワダチソウ」は、帰化植物で日本中にはびこっています。「アキノキリンソウ」と「セイトカアワダチソウ」は同じキク科で近縁種です。近年は、「セイトカアワダチソウ」に取って代われ、「アキノキリンソウ」はあまり知られず、山裾にひっそりと咲いています。花はやがて綿毛となり、種子を飛散させなんとか子孫を残そうとしますが、「セイトカアワダチソウ」の勢いには勝てない状況です。

「日本タンポポ」が、帰化植物の「セイヨウタンポポ」によりかなり減少しているのと同様のことが「アキノキリンソウ」にも起こっているようです。なんとか、日本古来種を絶やさないようにしていきたいものです。



「アキノキリンソウ」の花と群生

森の日記

「何がとれたかな？」

8月4日

川の生き物教室が、開催されました。

土岐川や肥田川、雲五川に生きる生物を学び、実際に雲五川に入って住んでいる生物を確認しました。ヨシノボリ、アジメドジョウ、カワムツ、ヤゴ、サワガニなどが確認できました。暑さを忘れて川の生き物観察を行いました。



教室のご案内

10月

秋の天体教室(要申込 定員20名 雨天中止)

10月5日(土) 午後7時~8時30分

集合場所: 第2駐車場

きのこ教室(要申込 定員50名 雨天中止)

10月6日(日) 午前9時~11時30分

陶史の森に生えるキノコを観察します。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

10月27日(日) 午前9時~11時30分

秋の野鳥を観察します。

11月

葉っぱのしおり作り(要申込 定員20名)

11月3日(日) 午前9時~11時30分

色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

11月24日(日) 午前9時~11時30分

晩秋の野鳥を観察します。

※ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。
気軽に声を掛けてください。

